

議会だより



あがまち

No. 70
2022.11

- 9月定例会議 2P
- 令和3年度決算審査Q&A 4P
- 議会のインターネット配信 7P
- 一般質問 8P
- 団体紹介 20P

阿賀の実り



● 発行：阿賀町議会 ☎0254-92-3112
新潟県東蒲原郡阿賀町津川1580番地
● 発行責任者：議長 齋藤 秀雄
メールアドレス：gikai@town.aga.lg.jp



町HP議会ページ

令和3年度 決算のポイント!

9月 定例会議

一般会計決算

歳入 138億2702万円 (前年度対比 0.4%増)
歳出 129億1669万円 (前年度対比 2.5%減)

主な事業 (金額は支出額)

<p>〔総務費〕</p> <p>集落集会施設整備事業</p> <p>太田会館建設</p>  <p>5265万円</p>	<p>〔総務費〕</p> <p>生活交通確保対策事業</p> <p>路線バス・巡回バス運行経費</p>  <p>6236万円</p>	<p>〔総務費〕</p> <p>テレワーク・ワーケーション 促進事業</p> <p>清川高原エリア改修工事</p>  <p>6890万円</p>	
<p>〔民生費〕</p> <p>子育て応援祝金</p> <p>誕生祝金 2万円 小中学校入学祝金 3万円</p>  <p>348万円</p>	<p>〔民生費〕</p> <p>高齢者在宅福祉事業</p> <p>移送・理容サービス、 除雪助成など</p>  <p>882万円</p>	<p>〔衛生費〕</p> <p>新型コロナウイルスワクチン 接種事業</p>  <p>1億1140万円</p>	<p>〔農林水産業費〕</p> <p>有害鳥獣対策事業</p> <p>檻、電柵など</p>  <p>2979万円</p>
<p>〔商工費〕</p> <p>町民湯めぐりサービス 補助金</p>  <p>1311万円</p>	<p>〔土木費〕</p> <p>除排雪対策費</p>  <p>8億9790万円</p>	<p>〔消防費〕</p> <p>常備消防設備整備事業</p> <p>高規格救急車購入費</p>  <p>3784万円</p>	<p>〔教育費〕</p> <p>スクールバス管理費</p> <p>スクールバス運行委託 スクールバス購入費など</p>  <p>1億5003万円</p>

9月定例会議は、9月6日から16日まで11日間開かれた。会議は令和3年度各会計の決算や令和4年度一般会計補正予算3件の他、特別会計補正予算2件、条例の改正など計15件と委員会発議2件を審議し、すべて原案のとおり認定可決した。

令和4年度一般会計9月議会補正予算の主なもの

補正予算として、豪雨災害による災害復旧工事費、燃料費高騰による施設電気料や新型コロナウイルスワクチン接種に関する経費等が上程され、満場一致で可決した。

【8月豪雨災害によるもの】

- 道路橋りょう災害復旧事業費 1億3405万円
 - ・測量設計委託料
 - ・町道実川線
 - ・町道石上線
 - ・町内47カ所応急工事費
 - 林道施設災害復旧事業 1920万円
 - ・林道徳瀬線(写真①)ほか
 - 農業用施設災害復旧事業 1億2609万円
 - ・測量設計委託料
 - ・馬取地内復旧工事(写真②)
 - ・町内44カ所応急工事費
 - 国重要文化財五十嵐家住宅応急工事 1000万円
- 【新型コロナ関係】
- ワクチン接種事業(オミクロン株対応) 3300万円
 - 感染者生活支援事業(食料品の支給) 170万円

【燃料費高騰・物価高騰によるもの】

- 町施設電気料追加 4552万円
 - ・本庁・支所・消防署分 1123万円
 - ・小中学校分1216万円
 - ・クリーンセンター950万円
 - ・ほか保育園・きりん荘・みかぐら荘・斎場など
 - 農業肥料等高騰対策給付金 2000万円
 - ・田10aあたり3千円 牛1頭あたり2万円の給付
- 【その他の補正予算】
- ドローン実装飛行委託料 700万円
 - 阿賀町産和牛全国大会出場補助金 および職員随行費用(写真③) 100万円
 - 観光ドキュメンタリー映像(ショウキ様)制作委託料 260万円



①林道施設災害復旧工事(林道徳瀬線)



②農業用施設災害復旧事業(馬取地内)

令和4年度特別会計9月議会補正予算の主なもの

- 国民健康保険特別会計 71万円
 - ・マイナンバーカード啓蒙活動
- 介護保険特別会計(保険勘定) 1274万円
 - ・償還金
- 診療所特別会計 122万円
 - ・電気料 70万円
 - ・修繕費 20万円
 - ・酸素供給装置リース料 32万円
- 下水道事業特別会計 706万円
 - ・電気料
- 水道事業会計 1208万円
 - ・電気料 728万円
 - ・修繕費 480万円



③全国和牛品評会はななつみ4の6(八木山区)

令和3年度 決算審査特別委員会 Q&A

注目される事業をピックアップして掲載しています。

ドローン実装飛行実験

Q 鹿瀬地区・上川地区で行われたドローンの実装飛行実験はどのような結果であったか？

A かりん薬局から鹿瀬・上川診療所までの実装飛行を5日間行った。現時点では個人宅前までの配送は無理だ。令和4年はJR越えを視野に入れている。



ドローン実装飛行

マイナンバーカード

Q 阿賀町のマイナンバーカードの交付率は。また、カード取得率を上げるには。

A 8月末時点、34・2%である。カード取得に不安を持っている方もいるので、メリットを説明し取得を推奨していく。



移動投票所

Q 選挙の際、投票所まで行けない、または行くのに困難な方もいる。移動投票所を検討しないのか。

A 以前、県内他市で行ったが様々な弊害があった。投票率向上に向けた、より良い形での実現を検討する。



投票

保育園通園バス運行

Q 通園バス運行に関して安全対策やルールなどは徹底されているのか。

A 国・県からも指示があったが、町では定期的に確認・指導を行っている。現在、運行の前・中・後に運転手・添乗員・保育園職員によるチェック体制を確立している。

灯油価格高騰緊急支援

Q 助成は令和4年も継続するのか。また、対象は住民税非課税世帯であったが、今後全世帯助成は考えているか。

A 県からの指示があれば、それに従い対応する。全世帯対象の要望を踏まえ、県とも相談して検討していきたい。

遊休施設の利活用

Q 旧鹿瀬小学校や旧三郷小学校は、福祉施設として利活用出来ないのか。

A 旧三郷小学校は雨漏りが酷いために使用出来ない。旧鹿瀬小学校は利活用するのに必要な工事に1億9千万円程度の経費が必要のため、現実的ではない。



旧三郷小学校



保育園通園バス

がん検診

Q 早期発見が大事なので、町検診以外での受診率を把握することが必要ではないか。

A 町検診の受診率はもちろんだが、個人で受診した人でも、希望調査によって7〜8割は把握出来る。将来的には受診率を把握するシステムが出来る予定である。

まなびの森交流館（緑泉寮）

Q 施設は完成したが、学生は3年間、2人部屋のままなのか。

A 部屋は充足しているが、受験生への対応もあるため、個人部屋への移行も視野に入れた検討が必要だ。

有害鳥獣対策

Q サル対策にGPSを使用しているが、効果は。また、耐用年数はどの程度なのか。

A サルが集落から離れていく傾向にあることから、追いつくという面では効果はあったと認識している。GPSの電池は2年のため、交換時期に入っているが、すでに交換作業に取り掛かっている。



緑泉寮

町のがん検診の受診率等（職場、学校の受診は除く）

検診の種類	受診率(対人口比)	発見されたがん数
肺がん検診	20%	0人
胃がん検診	8%	0人
大腸がん検診	18%	5人
乳がん検診	10%	0人
子宮がん検診	7%	0人

狐の嫁入り行列

Q 来年度以降の開催は。

A 商工会と、来年度開催に向けた協議を始めたばかりだ。

買い物支援

Q 東川地区で実証実験されている買い物支援システムであるが、どのような状況なのか。

A 2カ年の事業計画で、利用者はタブレット端末を使用して注文する。様々な課題が見つかる中で、利用しやすい工夫が必要だ。

移住定住促進事業

Q 新たな移住者獲得に向けて空き家調査もしているが、目標数は。

A 令和6年まで年間6世帯の移住者獲得を目指している。

消防団報酬費

Q 消防団への報酬の支払い方法は。不正支給などの調査は行っているか。

A 今までは分団から団員への支給だったが、令和4年度から個々に支払われる。今までの不正な支給がないことは調査済みである。



消防団の活動



狐の嫁入り行列

委員会活動レポート

総文社厚常任委員会

産業建設常任委員会

広報広聴常任委員会

7月22日

調査事項

国指定文化財の現状

①実川 五十嵐家住宅
社会教育課の案内により母屋の内部に入った。築260年が経過し床板などが傷んでいるところもあったが、建物の保存状態は良い。多数の文人墨客が訪問した文書などもあった。

②護徳寺観音堂
中村区にある真言宗豊山派の寺で本尊は秘仏の観世音菩薩である。両施設とも町の観光資源としても活用すべきである。

7月15日

調査事項

現地調査

①公益財団法人上川農業振興公社の「そば乾燥調製・製粉施設」改良工事 現場
②「中ノ沢渓谷森林公園・森林科学館」
④天満地区サル捕獲用大型檻設置状況

③そば乾燥調製製粉施設は、収量が天候などに左右される。栽培面積や生産計画の再考が必要。
中ノ沢渓谷森林公園は、県とも話し合い、入場者増加を図るべき。

7月21日

研修視察

次の事項を調査するため出雲崎町議会へ研修視察を行った。

①議会サロン、出前議会の活動
②議会のインターネット配信
③議員のタブレット端末使用状況

④視察研修後、総務課等と導入に向けて協議を行った。その結果、議会のインターネット配信及びタブレット使用は今後避けられない事項であると位置付けた。

全員協議会

7月7日

①(公団)上川農業振興公社の財務諸表の検討
②(二財)三川農業振興公社の財務諸表の検討
③(株)阿賀の里の財務諸表の検討
④町からの情報提供
町道黒谷線改良工事説明や特定地域づくり事業協同組合についてや他の項目について説明を受けた。

8月10日
町からの情報提供
①NPO法人(かわみなど・七福の恵)の令和3年度決算
②「阿賀町観光協会」及び「阿賀まちづくり(株)」への事業委託内容
③新潟麦酒製造施設の進捗状況
④コロナ関係給付金の交付状況

9月13日

①豪雨災害被害状況報告及び関連補正予算

8月3日から4日にかけての豪雨で町道や林道のうちに多大な被害があった。一般住宅は床下浸水一軒だけであったが、町道の55カ所で法面崩壊・土砂堆積・路肩決壊などの被害があった。河川では3カ所で護岸決壊があった。農地で畦畔崩壊・土砂流入など10カ所農業施設でも、水路や



半壊した五十嵐家住宅

頭首工・農道等66カ所の被害があり、林道では27路線48カ所で法面崩壊・路面流出の被害。特に実川の国の重要文化財五十嵐家住宅が土砂崩れで半倒壊になった。
②広報広聴常任委員会と議会運営委員会提案の議会定例のユーチューブ配信と議会でのタブレット端末導入は新年度予算に計上することとした。

来年度から議会のインターネット配信

特集

新企画「特集ページ」は、現在議会において議論や検討を行っている案件や、町の政策をわかりやすく解説します。
初回は、議会のインターネット配信とタブレット端末の導入を特集します。

	議会のインターネット配信 (YouTube)	タブレット端末の導入
導入の目的	議会傍聴へ来ることができない町民にも、議会活動を見える化できるようにする。	町が進める行政のデジタル化の一環であり、ペーパーレス化および事務軽減を図るため。
利点・効果	<ol style="list-style-type: none"> 1 スマホやパソコンから時間・場所を問わず視聴可能。 2 支所などでも放映することにより、議場に行くことなく議会傍聴が可能（生配信時のみ）。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 案内文書、議案書、予算書および決算書のペーパーレス化 2 メール連絡による事務軽減 3 オンライン会議の開催
議員間討議内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 インターネットにより、全世界に映像が配信される。不適切発言への対応は。 → 事前に勉強会・研修を行い、改めて不適切発言について理解を深める。 2 生中継するのか。録画配信するのか。 → 一般質問は生中継し、その他の案件は、後日録画配信する。 3 配信開始はいつから。 → 令和5年6月もしくは9月定例会議からの実施に向け準備を進める。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 タブレットの必要性 → 既に小中学生も使用しており、町が進める行政のデジタル化としても必要。 2 タブレットが苦手な者もいる。一足飛びに紙を無くすることには不安がある。 → 紙との併用期間を設ける。
担当委員会	広報広聴常任委員会	議会運営委員会

【検討経過】

7/21 出雲崎町議会への先進地視察
(出雲崎町議会では令和4年3月からインターネット配信およびタブレット端末を導入)

8/19広報広聴常任委員会
(インターネット配信を検討)

8/26議会運営委員会
(タブレット導入を検討)

9月定例会議 各委員会より視察及び導入に向けての検討結果を報告

9/13全員協議会において、導入する方針とした。

今後 導入に向けての準備 (予算要求・仕様確認・勉強会等)



9/13 全員協議会で導入する方針を決定

【まとめ】

新しいことを始めるには、十分な検討や準備が必要ですが、今回は先進地である出雲崎町議会への視察による情報収集を行い、詳細なスケジュールや予算の把握ができました。今後は、行政執行部と入念な打ち合わせを行い、導入後の効果的な運用方法を検討していきます。

町政を問う

一般質問

一般質問は、町政に関して議員が質問を行い、新たな施策の提案や意見を述べ、是正を求め、町政をより良い方向へ導くものです。



コロナ禍における「後期基本計画」の進捗状況



少年町長・議員で中高生に行政体験を（ほか1件）



災害時の避難所の設置基準は（ほか1件）



艇庫のトレーニング器械の利用状況（ほか1件）



第2次阿賀町総合計画（後期基本計画）の進捗状況は



町の個人情報保護条例とデジタル関連法（ほか2件）



新人役場職員の採用状況および職員教育は（ほか2件）



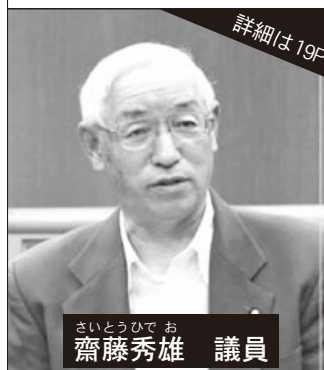
大雨対策は（ほか1件）



5年後、10年後を見据えた町政



町道の維持管理は充分か（ほか1件）

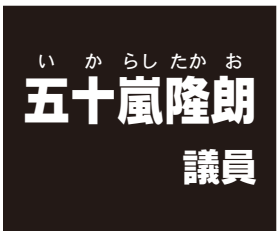


社会資本整備事業と地域再生計画

●一般質問は各議員の責任により文章を作成しています。

コロナ禍、後期基本計画の進捗状況

町長… 全体的に大きな遅れはない



五十嵐

平成27年度を初年度とし、令和6年度を目標年とする10年計画の基本構想を作成した。基本計画は前後期各5年とし、実施計画は基本構想及び基本計画に基づく5

力年計画としてPDC Aサイクルの手法を取り入れ進行管理を行う。しかし、後期基本計画スタートと同時に新型コロナウイルス感染症の流行が始まり、職員が感染予防対策の最前線についたことは、計画業務の進捗に支障をきたしたか。

町長

中間年にあたる、前半の取り組み状況を各課において検証した中で、計画審議

会へ諮問し、3月に答申をもらう予定。総合計画は、コロナ禍の影響を受けながらも進捗している。

五十嵐

社会経済情勢に大きな変化がみられるが対応は。

町長

進捗率悪化の施策はコロナ感染症による行動の制限、施設の利用制限などが原因。これらの落ち込みは、町の経済や日常生活に直結するものであり、町としては臨時交付金なども活用しながら可能な対策をした。今後も、審議会とも協議をして進める。

五十嵐

コロナ感染拡大により大きく社会は変化した。計画変更はあるのか。

町長

9月下旬に審議会の答申がある。その後、令和5年度、6年度に向けて計画の内容、目標数値などの見直しをする。このス

ケジュールは、町長選挙後令和5年度予算編成に向けたタイミングに合わせる。

五十嵐

コロナ後を見据えて新たな視点の事業の優先順位を考えてほしい。

町長

現実には、コロナ感染予防対策を最優先として取り組んでいるが、経済、社会、環境の総合的取り組みの必要性、危機管理、グローバルな取り組み、デジタル技術の実装や脱炭素化など、地域社会の変革の大きなチャンスにもなり得る。SDGsの理念を組み込みながら将来社会形成型まちづくりに向けた新たな取り組みも検討しながら推進する。

五十嵐

最重要課題は人口減少とそれに伴う少子化である。児童・生徒数、学校が10年で半分になり、減少率は県下最大。ここが

町長

問題ではないか。人口の減少、特に子どもの減少が町の将来への最大の課題と認識している。出生率低下に歯止めをかけたい。そのため積極的な対策を打ちたい。結婚、若い人の移住、子育て、教育など一体感を持って手厚い支援を中心に取り組む。

五十嵐

町の総合計画を形骸化させないように町長、職員に提案する。

町長

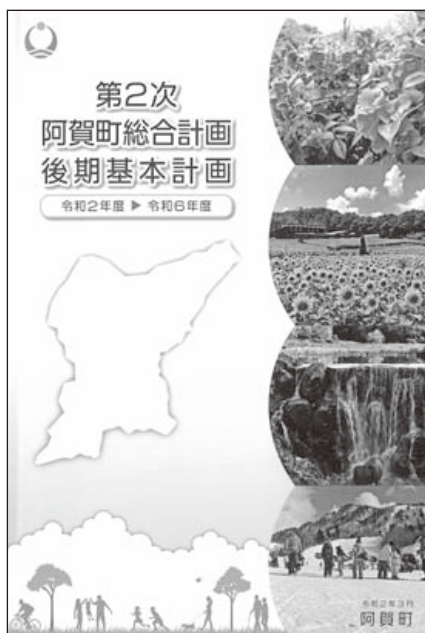
ここで満足して終わらず、主体性を持ちながら取り組み、形骸化はさせない。

五十嵐

空き家対策、農業問題、介護などが。課題は山積している。

町長

空き家を町の活性化に活用したいと思っている。農業にあっても所得向上が不可欠。医療体制、介護サービスの維持向上を図りたい。それには人材の確保が基本である。そのような観点を持ちながら、基本計画の見直しについては、審議会委員会、議会、町民の意見を聞き、必要な専門家、専門機器を導入しながら、職員と情報共有し進める。



中高生からの人材育成を

少年町長・議員で中高生に行政体験を

町長…勉強しながら検討する

齋藤

町は、「子ども未来フォーラム」で、町内全ての小学6

年・中学2年・阿賀黎明高校3年対象に、阿賀町について10年後を考える提案型の発表会を行ってきた。しかし、成果は町ホームページに掲載は無く、10年後に子どもたちが検証できないと思う。

山形県遊佐町では、

中高生対象の少年町長と少年議会を、中高生の公選で選出し、行政体験を行っている。

町長

すごい取組と驚きながら拝見した。実施事業も幾つかあり参考になる部分もあった。

町も、子どもたちの

考えや発想を聞き、まちづくりに活かしたい。

教育

遊佐町のホームページを見て、

活動や事業実施は貴重な体験になっている。未来フォーラムは総合的学習の阿賀塾であり、遊佐町は公民教育、主権教育と推察する。

齋藤

教育委員会は、子どもたちが10

年後に、見ることで検証できる環境整備をしては。

教育

開催後は、付箋を貼った模造紙を公民館に貼り、一般町民に公開した。写真での記録はある。

齋藤

写真が有るのであれば、検証環境を整えるべきである。

教育

今あるデータは、後々の検証に耐え得るものにする。

町長

極めて重要な視点であり検討を加えていく。

齋藤

遊佐町の人材育成については、役場の各課が横断的に関わっている。阿賀町の青少年人材育成はどう進めるのか。

教育

中高生には、地域課題を見つけ解決につなげる方策を実践させたい。各中学校長や学校運営協議会に投げかける考えだ。総合的学習の中で実践していく。

町長

参考になる部分が多い。教育委員会や、まちづくり企画担当を含め交流し、

阿賀町に合った新たな組み立てで動き出していく。

地域の再生について

齋藤

町民や企業が稼いだ町の所得は、半分以上は町外に流れていると、内閣府の統計で解る。その所得が町事業者消費されることで、雇用や起業を促すことへの流れに出来ないか。町の考えは、町の経済をみんなの力で廻していくことは、将来に向けて極めて大事と考える。

齋藤

町事業者への支援の形で、町内限定クーポンや地域内通貨の運用など、町内の所得の流出を少なくすることや、郊外大型店に負けないアイデアが必要だ。そのような研修機関への費用助成も考えてほしい。

町長

起業の誘致や企業からの投資を呼び込む等の、次に繋がる良い輪を作っていく。

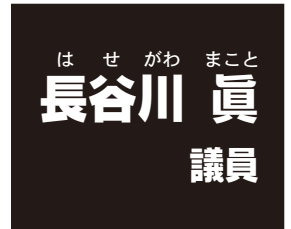
町商工会をはじめ皆さんと連携しながら積極的に可能な支援はしていく。



山形県遊佐町の少年町長・少年議会制度

災害時の避難所の設置基準は

町長…防災計画で設置しているが実態に即した対応が必要



はせがわ まこと
長谷川 眞
議員

長

8月3日から4日にかけての豪雨で、町内の数集落では避難指示が出た所もあり、自主避難した世帯もあつたと聞か、町のハザードマップでは浸水想定区域内や護岸崩落危険区域内に避難所が設置されているのはどんな理由によるものか。

町長

阿賀町の地域防制整備に基づき避難所を設置している。浸水想定区域内などにあるからという理由で、避難施設から外すと地域によっては小規模災害でも遠い避難所への移動となる。災害の種類や規模によっては、区



川のそばの避難所(荒況)

長

三川地区では、お寺や神社も避難所に指定されているがバリアフリーの問題、トイレなどは大丈夫なのか。

町長

三川地区で神社やお寺が避難所に指定されているところ

長

阿賀町は個別避難対応は行っていないのか。

町長

阿賀町は個別避難対応は行っていないのか。

町長

個別避難対応だが、町では避難行動要支援者名簿を作成している。避難要支援者は令和4年4月1日現在で、743名の登録がある。この名簿は避難支援実施するための基礎として民生委員、区長、消防本部、消防団等の関係機関と情報を共有し、避難の支援、安否の確認などを実施する。

長

今後さらに避難要支援者の皆さんが迅速かつ安全に避難できるよう個別避難計画の作成に取り組んでいく。

町長

避難所の指定も含め見直しが必要であると認識している。廃校となった小中学校は衛生面や設備の維持管理に問題を抱えている。今後は地域の皆さんとよく協議し、意見を聞きながら再度地域の避難所の在り方や避難手順等について検討し、避難所の適切な管理・運営と安全スームズな避難に努める。



新谷川の濁流

津川艇庫の活用

津川艇庫のトレーニング器械活用状況は

町長：多くの人々が利用できる場所にする

阿部

令和3年度に津川艇庫2階に「ホテルみかわ」からトレーニング器械を移設した。この器械の中には一流アスリートも利用するようなかなりレベルの高いものもあると聞く。現在の利用状況は。

教員

械なのか。

初心者が見よう見まねで使用することは非常に危険が伴う。目標を定め指導するトレーナーにコーディネートしてもらおうが一般的である。

阿部

トレーニング器械を利用したい人のためにも週1回程度の開放日を作り、一般の人にも利用できるようにしては。

教員

今、こういうスポーツの多様化により潜在的に利用者

阿部 一般住民も利用できるかという話がある。初心者はすぐに利用できない器

教員

トレーニング器械8台の内6台を津川艇庫に移動した。利用できなくなった理由の一つにトレーナーがいなくなったことによるもので、今は高校生のボート部及びジュニアボート部のみの利用となっている。



津川漕艇場（トレーニングルーム）

阿部 町の災害時における体制は「阿賀町地域防災計画」により定められ、その詳細のマニュアルには、水門の開閉操作は水門操作員が実施することとされている。開閉の判断を誰が行い、だれ

水門操作について

町長

はかなりあると考えている。問題はトレーナーの確保と県営施設でもあることから県・高校と協議し前向きな方向で検討していく。

近くに芝のグラウンドもある。スポーツの拠点の一つとして、あの場所を皆さんから多く利用してもらえる所にする。

町長

管理を消防団に委託しているところは消防団で対応。消防団は組織なので、その命令系統の中で判断及び対応してもらおう。マニュアル等には誰が指示すると言うようなことは明確文化されていない。その中の指揮命令系統で行っている。

消防員 マニュアル等には誰が指示すると言うようなことは明確文化されていない。その中の指揮命令系統で行っている。



石戸水門

阿部 災害はなければいいが、あっても被害は最小限に済めばいいと誰もが思っている。区と消防団の指揮命令系統は必要と考えるので、是非検討してほしい。

町長 三者三様の回答となったが、今後検討し、明確化していく。

総務課長 基本的には町長の答弁のとおり指揮命令の中で判断する。現実的には一番詳しい方々の協議の中で判断するのが方面隊長であったとしても、現場の流れの中で判断されるべき。

第2次総合計画の進捗状況は

町長…観光客入り込み数、百万人の達成は困難



山

第2次総合計画の後期基本計画

は5年間の計画で、現在半分が経過し、折り返しにかかった。そこで計画の進捗状況を全般的に聞きたい。

- ① 阿賀黎明高校入学者増を図るといふ目標の、現状と今後の見通しは。
- ② 多様な地域資源を活用し、バイオマス・水力・風力などの再生可能エネルギーの導入に取組むとなっている。
- ③ 観光振興について、入り込み数目標が百万人となっているが、現状と達成の見通しは。
- ④ 農林水産業における生産基盤を強化するため、六次産業化農産物



町外進学者の「緑泉寮」

数を40品目とするとなつているが現状は。⑤ 上下水道は、今後町の人口が極端に減つてくると、使用する水量も極端に減り、水単価の増加が予想される。上下水道の経営をどのように考えているか。⑥ 後期基本計画においてはSDGsを原動力として地方創生を進めるとなっている。新潟県においては一般社団法人として「SDGsにいがた」が正式に発足した。町としてこの団体に加入して、関連情報を得ながらSDGsを進めた方が良いのでは。

町長

① 阿賀黎明高校への地元中学生の進学者が減少している。令和2年が20人、令和3年が10人、令和4年が9人である。町外からの進学を受け入れるため、30名定員の寮を整備した。県教委と連携してさらに魅力化に取り組んでいく。

- ② 再生可能エネルギーについては、業者からかなり多くの問い合わせがあるので、今後林業振興という観点から取り組んでいく。
- ③ 観光はコロナ禍の影響を直に受けて、入り込み数の実績は令和2年は48万人、令和3年は47万人である。今後はウィズコロナという考え方で進めなければならぬので、新たな観光スタイルを考える必要がある。
- ④ 六次産業化商品の品目は、えごま油、そば、山菜の塩漬けなど



ウィズコロナの観光スタイルとは！
(写真は芦沢高原ハーバルパーク)

約30品目ほどである。目標の40品目に向けて商品開発を取り組んでいく。

- ⑤ 上下水道については、質問にあるように人口が減っていくと供給原価が上がっていくので、原価と経営を意識しながら運営していく。
- ⑥ 一般社団法人「SDGsにいがた」に加入して、情報を有効に活用しながら進めていく。

山

阿賀黎明高校へ、町内からの進学者が少ない原因はどこにあると考えているか。

教育

単純に言えば高校に魅力を感じていないといえる。例えば、人数が少ないのでやりたい部活が無いとか、負のスパイラルが起きている。それを打破するため、「黎明学舎」等を作って学習の支援を行い、魅力化に努めている。

山

魅力化プロジェクトということ

で関係者が努力されているが、生徒や保護者には魅力として伝わっていないのではないかと。今の生徒や保護者は考え方が多様化している。それを一つ一つ洗い出して、魅力化を進めようと考えている。

教育

今の子供や保護者は考え方が多様化している。それを一つ一つ洗い出して、魅力化を進めようと考えている。

※SDGsとは「持続可能な開発目標」の英語略であり、国連で決められた「誰一人取り残さない」ことを目指した国際社会共通の目標

個人情報保護条例とデジタル関連法は

町長：個人情報の適切な管理につとめる

入倉

自治体の個人情報保護条例は国

が保護法の全国的な一元化のために来年4月の改定法施行（個人情報保護法施行条例）に間に合うよう改廃を求めている。町の対応は、

町長

地域特性に応じた必要事項について、

入倉

法施行条例では国の条例事項と

なるものが記載されている。自治体の条例「素案」なども、独自に定めようとする内容は条例事項に沿ったものになり非常に限定的だ。

自治体は個人情報保護の最後の砦だ。

個人情報保護のためには、国の方針でなし崩しにならないよう、必要があれば国のガイドラインを変更させるなど主張してほしい。

町長

原則的には国の方向の中でしっかり進めていく。成立した法に従いながら町の行政も個人情報保護や人権などしっかり法律の中で守っていく。

今その洗い出しを行っている。

増えるごみ

処理対策を

入倉

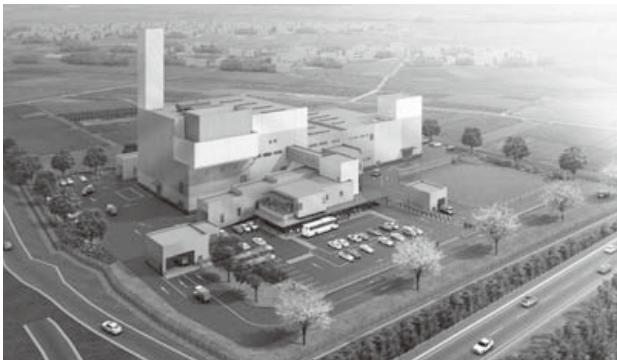
増えるごみ処理対策を国の廃棄

物処理を巡る新たな方針が環境省の廃棄物処理の在り方「焼却中心」から「減量・資源化優

町長

先」に変化してきている。分別回収のゴミ行政を進めていく必要がある。建設中の中間処理施設も含め今後の取り組みは重要だと考えるが。

令和7年度稼働予定のゴミの中間処理施設



国では資源面で循環型社会形成に向け、順次法整備をしている。令和7年から中間処理施設が稼働する。今年度中に方向性をまとめる。搬入ごみ量の負担金も出てくるので、ごみの減量と資源化を進めていく。

入倉

ごみの減量と資源化を進めて

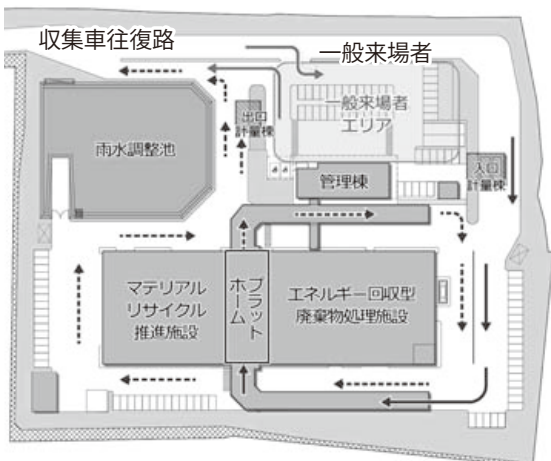
行けば発電と売電が当初の計画通りに進むのか懸念する。サーマルリサイクル（発電）はゴミを燃料とするためむやみにごみ焼却量を削減できない。

町長

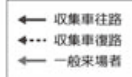
発電、売電するのが目的ではないので余剰電力を売電しながら運営費などに充てていくという考えだ。3市町で構成する町としても目配り、意見もしながら期待に応えられるよう運営にも関与していく。

いりくらまさもり
入倉政盛
議員

財源の一部として自治体にとっては発電量の減少が大きな痛手になる。サーマルリサイクルから段階的に脱却に転換できる取り組みも必要だ。



完成後の構内配置図



新人職員には広い阿賀町を知る研修が必要では

町長…町の職員としての自覚をもち、まずは自己で研修が必要。



町職員に広い目を持ち企画力を求める



みやざわ なおこ
宮澤直子
議員

宮澤 役場職員の採用データ調べたところ過去10年、一般行政職の採用が9名と少ないのではないかと。

町長 一般行政職は定年の延長や再任用により職員数を調整している。また近年は募集しても採用まで至らないケースもある。昨年はコロナ禍の状況を踏まえて保健師を1名採用した。今後は災害対応やDXの対応の職員採用も必要と考える。

宮澤 新人職員研修として業務の他に広い阿賀町を知り、住民との交流の機会が必要では。

町長 現在は特にそのような研修はしていない。個人の努力により町を知ることが必要。

宮澤 阿賀町の未来を担う職員には目の前の業務に集中するだけでなく、町全体を見る広い目を持ち、町の活性化を図る企画力も必要ではないかと。

町長 緊急メール配信サービスの導入に向けて通信会社と契約を済ませている。内容は緊急時の速報に限定される。また小中学校はすでに学校からのメール配信は行っている。

町長 そのような視点は大切なので業務の中で意識して進めていく。

宮澤 県内30市町村において27市町村が住民向けの防災関係の配信メールサービスを行っているが阿賀町はまだである。導入を進められないか。

町長 緊急メール配信サービスの導入に向けて通信会社と契約を済ませている。内容は緊急時の速報に限定される。また小中学校はすでに学校からのメール配信は行っている。

町長 阿賀町文化福祉会館大ホールの活用を

宮澤 阿賀町は都市部と比較して文化的な催しが少なく、芸術に触れる機会が少ない。阿賀町文化福祉会館は400名収容が可能でスクリーンも設置もあり空調・音響も修理した。3月に開催された鼓童の演奏や8月に開催のパラリンピックメダリスト永田務さんの講演会のような企画を町として年間を通じて開催できないか。

町長 阿賀町文化福祉会館は400名収容が可能でスクリーンも設置もあり空調・音響も修理した。3月に開催された鼓童の演奏や8月に開催のパラリンピックメダリスト永田務さんの講演会のような企画を町として年間を通じて開催できないか。

町長 阿賀町文化福祉会館は400名収容が可能でスクリーンも設置もあり空調・音響も修理した。3月に開催された鼓童の演奏や8月に開催のパラリンピックメダリスト永田務さんの講演会のような企画を町として年間を通じて開催できないか。

町長 阿賀町文化福祉会館は400名収容が可能でスクリーンも設置もあり空調・音響も修理した。3月に開催された鼓童の演奏や8月に開催のパラリンピックメダリスト永田務さんの講演会のような企画を町として年間を通じて開催できないか。



阿賀町文化福祉会館
大ホール

町長 文化福祉会館が住民の皆様にご覧いただける施設であるように企画・後援していく。

宮澤 文化福祉会館では「ある船頭の話」の上映会も行われた。住民が共に感動を味わう体験は住民の幸せ、すなわち町への満足度に直結するのではないかと。

町長 文化福祉会館が住民の皆様にご覧いただける施設であるように企画・後援していく。

宮澤 文化福祉会館では「ある船頭の話」の上映会も行われた。住民が共に感動を味わう体験は住民の幸せ、すなわち町への満足度に直結するのではないかと。

大雨対策

阿賀の里、観光船の避難スぺースの確保を

町長…法規制もあるが重要課題として引き続き検討

長谷川

今回の8月3日からの大雨では、阿賀野川の水位の上昇が一定の所で止まり、阿賀の里の観光船が流されることは無かった。近年、頻発する水害を考えた時、観光船の避難スぺースの確保が急務とを感じるが。

町長

阿賀の里の遊覧船については、平成16年と平成23年に船が何艘も流された苦い経験がある。また、令和元年10月には台風19号の影響による増水から船が国道下の農地に上がったままで船をダメにした。

こうした経験の中で船の安全な避難場所の確保というのは前々か



高額な観光船の避難方法は

らの課題になっている。地元の方さんからも川の状況を聞きながら安全な避難の場所や方法を検討して来ているが、これといった場所や対策が無いまま現在まで来ているのが実態だ。本当に大きな課題として捉えている。

長谷川

これは河川法により河川区域内に新しく構造物を設置することが原則的に難しい事も大きな要因となっている。

町長

撤去可能な構造物であれば設置も可能ではないかと思う。例えば撤去可能なレールを敷き、そこに引き上げるなど、河川法の中でも可能な方法があると思うが。

町長

提案された部分も含めながら、可能な対策を検討していく。

長谷川

船の所有者である町として、増水時の管理マニュアルといったものを、阿賀の里に対して指導する責任がある。しっかり

お願いする。

牧団地に迂回路を

長谷川

白崎区牧団地では過去に何度も孤立状態を経験している。内水の排水方法を考えるより、牧沢に橋を架けて白崎駐在所まで緊急車両一台分の道路を作る事が、現実的と考える。併せて同様の孤立地区への適切な対策も考えてほしい。

町長

牧沢は土石流危険渓流に指定されており、そこに橋を架けることは難しいのが現実。一方で令和元年10月の台風19号では24地区で孤立状態を確認している。迂回路の確保は極めて大事であ

はせがわ さとる
長谷川 智
議員

るが、現段階では適切な判断のもと早期の避難に努めてもらう事が重要と考える。

みかわ学童保育 外の環境整備を

長谷川

みかわ学童保育前の杉林整備が必要だ。昨年、クマが出没したことで特に線路側の薄暗いスぺースが不安である。

町長

この三川支所裏の杉林は民有地のため、効果的な間伐や枝打ち等、直接的なものは難しい。6月と9月、年2回の草刈りで対応しているのが現状だ。

長谷川

民有地のため対応が難しいとの

ことでしたが所有者の代替わりで以前より話を通るケースが増えている。

町長

集落回りの環境整備は町としても進めていく方向だ。

農林課長

地区の同意、所有者の同意が得られれば里山林環境整備事業で対応可能。



昨年クマが出没した学童保育前の杉林

人口減など先を見据えた計画が必要だ

町長… 必要な施策を打たなければならない



かとう たつや
加藤達也
議員

観光ビジョン

加藤

阿賀の里のリニューアルが予定されている。どのようにして阿賀町の特色を出していくのか。

町長

川があつて舟にも乗れるというのが特色でもあるが、それだけでなく提供するサービスも、大事なリニューアルの一つと考える。

加藤

やるなら徹底的に、PRも大々的にやるべきと考える。阿賀の里を観光拠点とするなら、メタパス（仮想空間）を導入して観光アピールしたらどうか。

町長 斬新な、時代に即した提案をもらった。計画の中で、大いに参考にして検討を進めていく。

加藤

メタパスに関して真つ先に浮かんだのが、持倉鉾山であった。あるアーティストのファンの間では、一度は訪れたい聖地となっている。ただ、観光地への障害となっているのがヤマビルであり道路整備である。これらもメタパスによって様々な活用ができるのではないか。

町長

阿賀の里だけでなく、首都圏などにも積極的に阿賀町を発信できる希望が持てる取組だ。

加藤

先日、阿賀町産コシヒカリがモンドセレクションで3社受賞した。美味しいお米の本場の味を楽しんでもらうため、阿賀町の水とのセットでふるさと納税などに提案したらどうか。

町長

贈答品などでのオフアームもあるので、実現化に向けて努力していく。



メタパスとは？

教育ビジョン

加藤

これは上条小学校の平成6年度卒業生による卒業論文集だ。小学生が作ったとは思えない素晴らしい、正に歴史書である。今、教育が変化していく中で郷土探索など、当町における阿賀学、大変重要な学習なので再認識した。

町長

当時、郷土を知り郷土を愛し、大人になった時に阿賀町に対してどういう発信が出来るかを考えてもらう取組みであった。今後も、子どもたちが身近な歴史を把握した上で、町を認識出来る取り組みを進めていく。



郷土愛にあふれる
平成6年度卒業論文集

加藤

子どもたちが様々な体験をする上で、子ども議会の開催を提案する。

町長

旧津川町・旧上川村で実績があるので、打ち合わせなどしながら検討していく。

加藤

少子高齢化の対子育て世代の移住・定住が必須である。その点でのアピールを考えた時、「阿賀町の小・中学校を卒業すれば英語が話せるようになる」これは大変なアピールになるのではないか。

町長

厳しい面もあるが、そのように特化することも大切だ。

町道の 維持管理 は充分か

中山区町道路路面に複数の穴があいている

町長…安心・安全に通行ができるように
取り組んで行く

長 谷 川

旧上川中山区の町道。路面に複数の穴があいている。

お盆に県内外から又、高倉宮以仁王の歴史墓もあり全国から歴史を勉強している大学生がおとずれる。昔は13戸あり今は5戸あり地区は斜面に家がある。車、二輪車は穴に入ったら谷底まで落ちる所だ。地区から相談があり上川支所に連絡した。穴はうめてもらった。町道のパトロールや、維持管理はどの様になっているか。

町 長

中山区内の舗装陥没箇所については、お盆前でもあり応急的に補修を終えた。ひび割については、中



高倉宮以仁王墳墓入口

山区からの集落内の舗装修繕の要望も出ているので区長と相談し検討して行く。全体の町道維持管理・町道の老朽化対策について監視・確認しながら、検討して行く。国と県の補助事業も活用し、順次計画的に進めている。

長 谷 川

中山区は高倉天皇の兄、高倉宮以仁王の伝説も色濃く今も残っている観光地である。

町 長

町道が899路線あり総延長445キロメートルあり、町では郵便局と連携をし、そうした箇所があれば報告してもらうよう

うにしている。

長 谷 川

中山区は山深い希望と生きがいを持って暮らせるようなまちづくりを願う。又福祉バスを利用して週に一度・町まで食料品など日用品を買いに運行しているが買物難民にならないようこれからも続けてもらいたい。

町 長

町民の皆さんが特に道路は大事な一番基本的なインフラなので、しっかりとそこは安心して安全に通行できるように取り組んでいく。

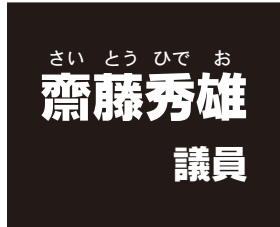


中山集落前の道路

は せ がわりよう こ
長谷川良子
議員

阿賀野川河川整備計画の現状

町長…^{わじゅうてい}輪中堤(集落を堤防で囲む)計画を進めている



さいとう ひで お
齋藤秀雄
議員

齋藤

阿賀野川河川整備計画が策定されてから事業の進捗が遅いようだ。計画と用地確保はどのような状況か。また、用地取得に町職員支援、工事関係は県職員とする協力関係はできないのか。

町長

現在、輪中堤計画で測量・調査・解析をし、内水氾濫リスクの高い、大牧・京ノ瀬・角島・麒麟山温泉・深戸・夏渡戸・実川島は慎重に進めている。

内水氾濫リスクの低い麒麟橋・中岩沢は用地説明会を実施し、用地交渉に着手予定である。平堀は用地測量し修



輪中堤で完成した川口地区

地域再生計画

齋藤

森林環境譲与税で林道整備や維持工事などに取り組む

正後、用地交渉に着手。平堀は測量中で年度内に境界確定の予定だ。事業の現状はスピードが遅いと感じているので事業予算の確保と、用地の取得に向け津川地区振興事務所と連携強化していく。用地取得に関して、町職員は不足しているが協力していく。国・県と協議を重ね連携、補完できる体制にしていく。

化策は。

町長

森林環境譲与税割合が大きいので江東区等へ伺い、町に寄与する事業を提案している。9月補正予算で活用する。

阿賀の里経営

齋藤

地域再生計画でのリニューアルを計画している。

運営企業の体質が変わらない現状では無駄な投資になると危惧している。以前は「経営改革なくして再生はない」と町有化し、「イザベラバード号」購入で活性化を推進した。コロナウイルス感染で経営は厳しいとは思いますが、町は毅然たる方針で対処すべきではないのか。

町長

会社経営は継続し、発展できる体制を指導していく。改革に努め、笑顔で接客できていると思う。経営改革推進を会社経営陣と協議し、経営管理に努める。

齋藤

地域貢献する人材育成のために町出身学生に奨学金支援を検討する考えはあるのか。

町長

町の将来を考えて支援は積極的に推進する。

町としては医師確保に向けても支援が必要だ。

医師確保は新潟県全体の問題だが、県と連携して取り組む。

第10回 阿賀町元気印☆団体紹介

このコーナーは阿賀町で活動している団体の紹介と町・町議会への忌憚^{きたん}のない意見を掲載しています。

山という山、尾根という尾根がある限り
世界は、冒険の可能性に満ち満ちている!!

石間山の会 1994



奥只見紅葉トレッキング

《会の紹介》

- 平成6年5月に、里山整備から地域活性化を目的に創設。
- 会員構成は、石間地区を中心に、阿賀町・五泉市・新潟市・新発田市の愛好者で形成。
- 創設当初の会員は25名。
現会員数 18名。
- 活動調整の為、月一回の定例会を実施し、季節や会員のニーズに対応。
- 区内の行事に（登山道整備・盆踊り・運動会・河川除草・他）全面協力。
- ◆会長／神田文夫
- ◆事務所／阿賀町石間
☎090-3757-3267



日光白根山登山（いよいよ急登が…）

《おもな活動》

“基本、上下関係なし!!”

結成以来28年が経ちますが、現在も月2回程度、何らかの形で活動をしています。創設当初は、全員が若く、百名山や3000m峰など、毎年のように挑戦しました。しかし、寄る年波には勝てず、近年では、「東京散策や温泉・巨木巡りなども織り込んで会のマンネリ化対策をしています。又、冬場の活動として、ボウリング大会の開催も24回を数えます。長く続いた要因として、上下関係を一切排除し「和気あいあい」をモットーとしてきたことが一番かと感じております。

これからも、山のすばらしさを伝えて行きたいと思えます。

《町・町議会への要望》

今年6月に、「山岳観光」への提案書を町にお届けいたしました。今後も、「大日岳」を中心とした山岳観光を進めるよう議会のご尽力を戴きますよう要望します。

阿賀町議会だよりモニターの皆さんから多くのご意見などが寄せられました。今回はそのアンケートの意見の中からおもだったものと、議会だより全体についての感想を紹介します。

★表紙の写真について

- キャンプファイヤーを囲んだ児童たちの、わくわく感が伝わってくる。
- 季節感が良く出ていて、本誌の表紙に適している。
- 自分の子供の頃を懐かしく思い出した。



★読みやすい記事、読みにくい記事は

- 6月定例会議(P2～3)は横書きで見やすい。
 - 阿賀町元気印☆団体紹介(P17)は文字や写真が工夫されており、町民の顔が見えて良い。
 - 読者モニターの広場(P18～19)は町民の意見として身近に感じられ、共感できる。
 - 常任委員会/全員協議会(P4)は読みやすいが、文字ばかりなので写真があると良い。
 - 一般質問(P8)は年配者には内容が理解しにくい。
 - 一般質問(P15)は見出しは短く端的に、文章は句読点で適切に区切った方が良い。
- ⇒ 見出しの文字数は18文字以下になるように再度徹底します (編集委員より)

★レイアウトで気になった点は

- 6月定例会議、臨時会議(P2～3)は読みやすくなるように整理、検討されていることは伝わってくるが、もう少し読みたくなるような工夫してほしい。
- 一般質問のページは全ページが同じレイアウトで続くため、工夫してほしい。変化があったほうが良い。

★各記事の写真はどうか

- P12 持倉鉱山2枚の写真が良い。
- 内容を分かりやすく伝えている写真が増えて良い。
- 記事を補足する写真のおかげで大変読みやすくなった。
- 一般質問(P14)の写真は資料写真ではなく実写真の方が効果的。
- 小さくて見づらい写真もある。



モニターの皆さん貴重なご意見
ありがとうございました。

★議会だより69号全体の感想をお聞かせください

- 一般質問(P9)は農業のやり方をよく勉強している。
 - 「議会だより」やその他の活動で、「開かれた議会」になるように期待している。
 - 「物価高」や「獣害」に関しても記事にしてほしい。
 - 一般質問(P15)の「ソ連」は「ロシア」の間違いでないか。
- ⇒ 文責は筆者本人ですが、編集委員もさらに注意したい (編集委員より)
- 一般質問において、議員一人一人についてモニターとしての意見を述べることは躊躇もあったが、今回の「議会だより69号」を見て思い切ってお伝えして良かったと思った。
 - 記事のメリハリ等、毎号丁寧に考察され、読みたい「議会だより」に近づいている。

議会だよりモニター、アドバイザーを募集します

町議会では、町民の皆さまと議会との結びつきを深め、議会だよりのより一層の充実を図るため、議会だより各号のアンケートをお願いする「議会だよりモニター」や、記事の文章校正や掲載写真の撮影指南等をお願いする「議会だよりアドバイザー」を募集します。皆さまのご応募お待ちしております。

活動内容	モニター	年4回発行の議会だよりに関するアンケートへの回答等
	アドバイザー	文章アドバイザー：議会だより記事の文章校正等 写真アドバイザー：議会だより掲載写真の撮影補助や撮影指南
任 期	2年	
対 象	町内に住所を有する方 ※議会だよりに顔写真と氏名を掲載することをご了承いただける方に限ります。	
募集定員	モニター 10名、文章アドバイザー 2名、写真アドバイザー 2名	
申し込み方法	11月30日（水曜日）までに、①住所、②氏名、③年齢、④性別、⑤日中の連絡先を電話、FAX及びメール等により議会事務局へお知らせください。 議会事務局 TEL：0254-92-3112 FAX：0254-92-5725 E-mail：gikai@town.aga.lg.jp	

表紙の写真

クリ、アケビ、クルミ、ドングリなど秋の実を籠に盛り、阿賀町の秋を撮りました。

12月定例会議のお知らせ

予定

○期日 12月13日（火）～16日（金）

○時間 午前10時

○内容 議会運営委員会にて決定します。

皆様の傍聴をお待ちしています。

議会だより
アドバイザーから



議員を1期させていただき、広報委員長も経験させていただきました。

現在はまちづくり会社を作り、活動しております。

広報委員長の時に、新しく変えた部分を今の委員の方々が引き継ぎながら、編集作業をしていただいていると思います。

委員の皆様には、常に変革の意識を持ち、学び挑戦して、今後もより良い紙面作りをお願いします。

私も一町民として、多くの町民から読んでもらえるような、紙面を作ってもらえるように、微力ながらお手伝いできればと思います。

高橋 眞也

「地域と語る会」開催のお知らせ 11月下旬予定

編集後記

6月から真夏の暑さが続く中、激甚災害に指定された8月の大雨では、県北の村上市と関川村が大変な被害に見舞われました。

阿賀町でも国指定重要文化財、実川にある五十嵐家住宅が土砂崩れにより半壊しましたが、完全修復予定の報に一安心です。

また9月11日に津川河川広場で開催されたクラシックカーフェスタでは、交流人口拡大が図られ、久しぶりに大勢の人で賑わう素晴らしいイベントでした。

関係者の皆様、大変お疲れ様でした。

（長谷川 智）

広報広聴常任委員会

委員長 長谷川 眞
副委員長 宮澤 直子
委員 入倉 政盛
委員 山口 庫幸
委員 長谷川 智也
委員 加藤 達也

皆様のご意見提言をおまちしています。どんどんお寄せ下さい。

【阿賀町議会】TEL 0254-92-3112/FAX 0254-92-5725/メールアドレス gikai@town.aga.lg.jp